

大阪府感染症発生動向調査週報（速報）

2023年 第10週（3月6日～3月12日）

今週のコメント

～インフルエンザ～ 咳エチケット、手洗い、マスクの着用が重要

定点把握感染症

「RSウイルス感染症 増加」

第10週の小児科・眼科定点疾患の報告数の総計は1,439例であり、前週比6.0%増であった。定点あたり報告数の第1位は感染性胃腸炎で以下、RSウイルス感染症、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、突発性発しん、流行性角結膜炎の順で、定点あたり報告数はそれぞれ5.98、0.52、0.49、0.13、0.10である。

感染性胃腸炎は前週比5%増の1,167例で、南河内9.94、中河内7.80、三島7.53、泉州6.65、堺市5.94であった。

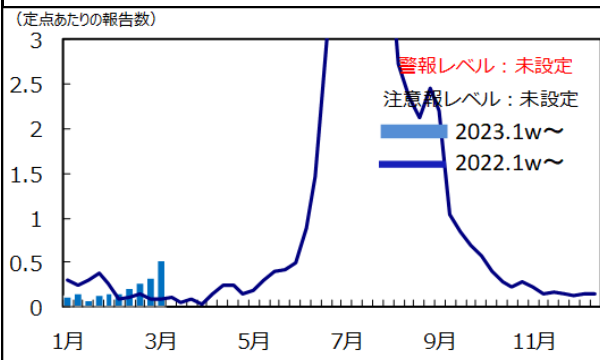
RSウイルス感染症は60%増の101例で、北河内1.04、大阪市西部1.00、大阪市南部0.83である。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は4%増の96例で、大阪市北部1.93、大阪市南部0.83、堺市0.67であった。

流行性角結膜炎は67%増の5例で、三島0.50、大阪市北部0.20、泉州・大阪市東部0.17である。

インフルエンザは20%減の2,465例で、定点あたり報告数は8.27であり、警報レベル終息基準値10を下回った。しかし、北河内12.93、南河内11.46の2ブロックでまだ注意報レベルを超えている。中河内9.55、泉州9.42、三島8.36であった。

RSウイルス感染症



感染性胃腸炎

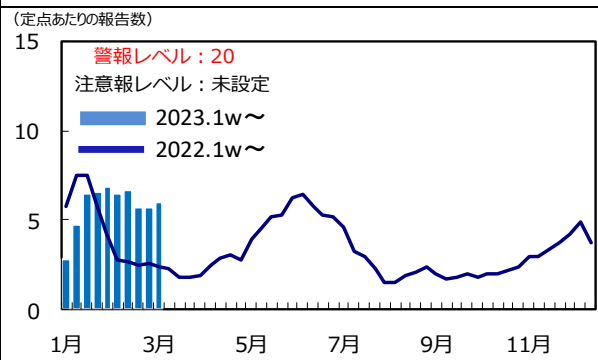


表1. 大阪府小児科・眼科定点把握感染症の動向（2023年 第10週3月6日～3月12日）

第10週の順位	第9週の順位	感染症	2023年第10週の定点あたり報告数	前週比増減	2022年第10週の定点あたり報告数	2023年第10週の年齢別患者発生数最大割合
1	1	感染性胃腸炎	5.98	5%増	2.38	2歳_14%
2	3	RSウイルス感染症	0.52	60%増	0.08	1歳未満_32%
3	2	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.49	4%増	0.11	3歳5歳_18%
4	4	突発性発しん	0.13	31%減	0.18	1歳_56%
5	6	流行性角結膜炎	0.10	67%増	0.02	20歳以上_60%
参考		インフルエンザ (インフルエンザ定点報告疾患)	8.27	20%減	0.00	10-14歳_20%

突発性発しんについては、(1)季節変動はないこと、(2)毎週の定点あたり報告数は一定していること、(3)年次による差異もほとんどないことから、本文には詳細に記載していません。第36週からインフルエンザの新シーズンの集計が始まりました。

第10週のコメント

～新型コロナウイルス感染症～ 基本的な感染対策の実践を（手洗い、換気、密閉・密集・密接の回避、マスク着用）

全数把握感染症

新型コロナウイルス感染症

第10週の新型コロナウイルス感染症の週あたり新規陽性者報告数は3,485名であり、前週より24%減少した。大阪モデルは、2月24日に警戒信号（黄）から警戒解除（緑）に移行した。新型コロナウイルス感染症の主な感染経路は飛沫・エアロゾル・接触感染である。臨床的な特徴として、潜伏期間は1～14日であり、その後、発熱や呼吸器症状、全身倦怠感等の感冒様症状が1週間前後持続することが多い。一部のもの、呼吸困難等の肺炎症状が現れる。発病者の多くは軽症であるが、高齢者や基礎疾患等を有する者は重症化する可能性がある。感染拡大を防ぐには、基本的な感染対策（手洗い、換気、密閉・密集・密接の回避、効果的な場面でのマスク着用）の実践、感染者の早期探知、隔離、接触者調査が重要である。

[新型コロナウイルス\(COVID-19\)関連情報\(国立感染症研究所\)](#)
[新型コロナウイルスに関するQ&A\(厚生労働省\)](#)
[新型コロナウイルス感染症\(COVID-19\)について\(大阪健康安全基盤研究所\)](#)
[新型コロナウイルス感染症関連特設サイト\(大阪府\)](#)

表 2. 大阪府全数報告数（2023年 第10週3月6日～3月12日）

注意：この週報は速報性を重視しておりますので、今後の調査に応じて若干の変更が生じることがあります（報告があった疾患のみ記載しています。詳細は感染症情報センターホームページ>【週報】>全数把握疾患 をご覧ください。）

	疾患名 ()内の病型は今週報告分のみ 府内累積報告数の内訳は省略	報告数	豊能	三島	北河内	中河内	南河内	堺市	泉州	大阪市	府内累積報告数
4類感染症	レジオネラ症（肺炎型）	5	1		1	1	2				20
5類感染症	アメーバ赤痢	1				1					8
	ウイルス性肝炎	2	1							1	6
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	3							1	2	25
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1					1				16
	後天性免疫不全症候群	2	1							1	11
	侵襲性肺炎球菌感染症	1	1								23
	梅毒	26	1		1		1		1	22	325
新型インフルエンザ等感染症	新型コロナウイルス感染症	3,485	2020年1月以降累積 2,819,395								
結核 (2023年1月分)	結核 新登録患者数：49名 (内 肺・喀痰塗抹陽性 18名) (府内累積報告数 49名、内 肺・喀痰塗抹陽性 18名)										

(2023年3月14日 集計分)

新型コロナウイルス感染症の報告数は、大阪府の報道発表の報告数を示しています。

[詳細はリンク先の『令和2年11月2日以降』の情報をご覧ください。](#)